

県民の皆様へ正しい情報を！

総務委員会
土橋 亨

今回は総務委員会に所属しております。今回の総務委員会では交通関連として県内に設置の「音声信号機」（俗にいう♪ビヨビヨカッコ）がスマートフォンでも24時間体制で発信を開始するとの事になりました。山梨県視覚障害福祉協会の顧問を務めている私にとって20時くらいに終わってしまう音声信号機の時間延長は大変うれしい事業になりました。



また長崎知事が専決処分した県有地に関する弁護士費用（着手金）について、和解ではなく裁判を選択した議案としては「弁護士費用が高い」「相談がなかった」という理由で反対するのは如何なものかと意見が出て、総務委員会として採決を取り賛成6・反対2の結果で専決処分を認める事となりました。これからも県民の皆様へ正しい情報のもとで、分かりやすく説明が出来ますように頑張ります。

身近に迫る土砂災害の危機！！

土木森林環境委員会
清水 喜美男

過日、熱海市で甚大な土石流災害が発生しました。山梨県にも、こうした土砂災害の恐れのある「土砂災害警戒区域」が7,238ヶ所あり、このうち、命の危険が生じる「土砂災害特別警戒区域」が6,024ヶ所あります。土砂災害の種類別内訳は①急傾斜地の崩壊（4,360ヶ所）②土石流（2,442ヶ所）③地滑り（436ヶ所）～となっています。温暖化による集中豪雨の増加にともない、警戒区域も確実に拡大しつつあります。山梨県としても「県土強靱化計画」の中で、災害予防保全事業を鋭意推進していますが、皆様方におかれましても、日頃からハザードマップを再確認して戴き、迫りくる命の危機に備えて戴きたいと思っております。



戦略なき対策 ～混迷の果てに～

農政産業観光委員会
山田 七穂

先日、東京都に4回目の緊急事態宣言が発令されました。今までの経緯を鑑みると、緊急事態宣言が解除された後一定期間を経て次の波が来ることは容易に想定できたはずであります。

コロナウイルス感染拡大によるパンデミックが発生して1年半、政府には様々な対策が考えられたはずであります。本県も独自に「グリーンゾーン認証」など対策を講じてきました。その間、政府は「根拠のない希望的楽観論」のみ訴え、厳しい現実を直視せず、繰り返し緊急事態宣言を発令し国民に我慢を強いる対策しか取らなかったことは怠慢であり、多くの国民は大きな困惑と強い憤りを感じております。

結果、国民に「夢と希望と感動」を与えるはずの東京オリンピックが無観客により開催されることとなりました。果たしてそれが「人類が感染症に打ち勝った証となる大会」といえるのであろうか改めて考えさせられます。



25人学級の推進と、万全なコロナ対策で「安心・安全」を！

教育厚生委員会 委員長
古屋 雅夫

2月定例会で「教育厚生委員長」に就任しました。本委員会は早速、県内で始まった「小学校1年生25人学級」を導入した山梨市立「加納岩小」を訪問しました。

25人学級の推進は子供たちの一人ひとりの可能性を最大限発揮するために欠かせないこと、あわせて教員確保策が課題であることを再認識しました。一方で県内の新型コロナウイルス感染者は2,200人超え、「県民の命、健康を守る」取り組みは、「ワクチン大規模接種センター」事業など、追加された30を超えるコロナ対策事業を審査し実施することとなりました。一日も早い、「県民の安心・安全」の確保のために引き続き取り組んで参ります。



目指せ！豊かさを共感できる故郷を

教育厚生委員会
予算特別委員会
藤本 好彦

今回の予算委員会等の質疑では主に、①在宅医療を支える体制の充実と強化、②献血事業の推進、③ツキノワグマの錯誤捕獲の防止と放獣強化、④学校給食で有機農産物の利用・拡大を図るため、山梨県有機農業推進計画における有機農業推進目標に関する新たな項目の導入、⑤有機農産物など地元農産物の生産者と学校給食関係者をつなぐ取り組みの推進、⑥教員の健康相談体制の充実と促進、⑦学校事務職員への支援の充実、⑧土壌の強靱化、⑨新型コロナウイルスワクチン接種相談窓口設置事業、⑩殉職警察官慰霊祭事業、⑪沖縄「甲斐の塔」慰霊巡拝等事業について、答弁を求めました。これからも、凡事徹底・誠心誠意、責任を果たして参ります。



編集後記

どうぞお先に

世の中の皆が先を競い合っている時に「どうぞお先に」と一歩譲る。そのようなことをしていたら、激しい競争に取り残されるといふ声を聞きます。

けれど、一歩譲ることのできる“徳”を身に着けることによって、目先では損をしても、人生の過程では、得を頂くことが多いのではないのでしょうか。かけがえのない今日1日を大切に、私たち全員「どうぞお先に」と一歩譲る心組みで、小さな損をして大きな徳を頂く事を、心がけて参ります。

